



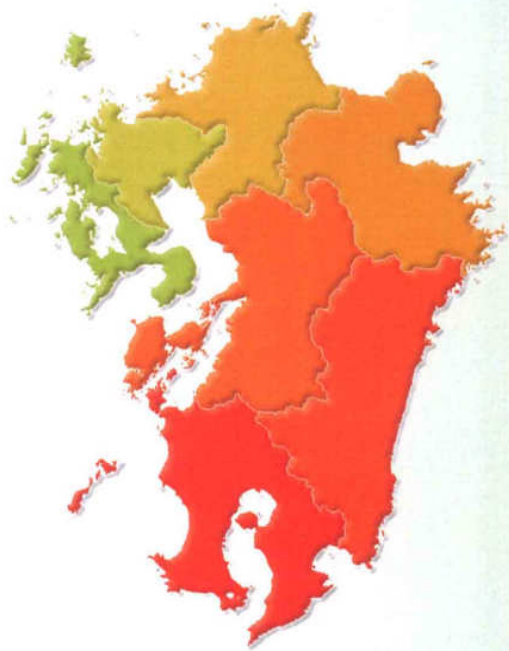
設立50周年記念行事開催

九遊商設立50周年 記念式典・記念講演会



九遊商 ニュース

No.12



50周年記念式典と講演会

式典、講演会、祝賀会の3部構成で

記念式典で歴代理事長
4人に記念品贈呈

九州遊技機商業協同組合(石山敬達理事長)は1月21日午後4時から「ホテルオークラ福岡」(福岡市博多区)3Fの「メイフェア」で「九遊商設立50周年記念行事」を開催。

(165人列席)、記念祝賀会(175人列席)の3部構成で開催された。

第1部の記念式典は岩下卓世副理事長の開会のことばで開始。石山理事長の挨拶(別項)の後、来賓を紹介。来賓から、正木計太郎福岡県中小企業中央会会長、西川明寛九州地区遊技業組合連合会会長の祝辞を受ける。

その後、歴代理事長の4名(有田義雄(株)丸一商事会長、山田規雄(株)九州エース電研会長、金子國生(株)九州高尾社長、丸田安利九州太陽(株)社長)に記念品が贈呈され、日本赤十字社福岡県支部へ寄付金が贈呈された後、山本龍彦副理事長の閉会のことばで第1部は



石山理事長

記念行事は、記念式典(163人列席)、記念講演会



午後4時40分に終了した。

記念講演は木村政雄 フリープロデューサー

第2部は記念講演会が午後5



記念品を贈呈された歴代理事長4人と石山理事長(左から=金子國生(株)九州高尾社長、有田義雄(株)丸一商事会長、石山理事長、山田規雄(株)九州エース電研会長、丸田安利九州太陽(株)社長)

時から約1時間行われ、講師に木村政雄(フリープロデューサー)(元吉本興業(株)常務取締役)を迎え、「不透明な時代をぶち破る、木村流オンラインワンのすすめ」のタイトルで講演が行われた。講演は木村氏の

吉本興業時代の経験が多く盛り込まれ、テレビ等でお馴染みの人物を例に挙げて、わかりやすくユーモアに溢れながらもビジネスに活用できる話に参加者は聞き入っていた。



西川明寛九遊連会長

第3部の記念祝賀会は会場を4Fの「平安の間」に移して行われ、石山理事長の挨拶の後、来賓が紹介され、金本正浩福遊協理事長の乾杯の音頭で開始された。祝賀会は新年会も兼ねて行われ、

ビンゴ大会で盛り上がる記念祝賀会



祝賀会中締めめの山口雅弘日遊協九州支部長



祝賀会で乾杯音頭の金本正浩福遊協理事長

新年会恒例のビンゴ大会が行われ、今年もたくさんのお賞品が用意されていた。祝賀会は山口雅弘日遊協九州支部長の中締めで8時30分に終了し、九遊商設立50周年記念行事は成功裡に終了した。



祝辞の正木計太郎福岡県中小企業中央会会長



記念講演の木村政雄氏



記念祝賀会



【記念式典来賓】

- ・正木計太郎福岡県中小企業中央会会長
- ・西川明寛九遊連会長
- ・山口雅弘日遊協九州支部長
- ・金本正浩福岡県遊協理事
- ・森孝輝佐賀県遊協理事
- ・金在哲大分県遊協理事
- ・大塚良一熊本県遊協副理事

長

- ・前園善彦宮崎県遊協理事
- ・木村滋回胴式遊商九州・沖縄支部長

【記念祝賀会来賓】

- ・西川明寛九遊連会長
- ・山口雅弘日遊協九州支部長
- ・金本正浩福岡県遊協理事
- ・森孝輝佐賀県遊協理事

- ・大塚良一熊本県遊協副理事
- ・前園善彦宮崎県遊協理事
- ・比嘉良幸沖縄県遊協理事
- ・木村滋回胴式遊商九州・沖縄支部長

昭和35年に16人でスタート 先輩方の苦勞の上に今日がある

石山敬達 理事長

皆さんこんにちは。本日は本当にご多忙の中、また遠い所を関係団体の皆様方のご臨席をいただきまして、高いところからではございますが厚く御礼申し上げます。

さて、私共の九遊商は昭和35年に16人の発起人からスタートされたと聞いております。その後、昭和63年には当時の九州通産局の認可を受けまして法人化され、今に至っております。

設立当初のお話を伺いますと、16人中の2人はメーカーの福岡支店さんが入っていたそうであり、まさにに販社とメーカーが力を合わせて(そのころの商売の取引は現在より少々乱れていた)何とか健全な物にして行かねばならないと、強い意志を持って設立されたということ。これは今、私も中小企業の組合に大企業となったメーカーさんも名を連ねていただ

けるのは、こういった原点からきているのであります。

それから昭和60年になりますと風営法が改正されますが、風営法が改正される前の中古流通というのはほとんどルールが無い状態でした。それで風営法が改正された時に、行政当局からきちんとした健全な中古流通を行いなさいとの命を受けまして当時の先輩方は大変ご苦勞されたと思います。その当時の努力で、メーカーさんの保証書で我々販社が中古機を動かせるというルールが確立されたのですが、今の中古流通制度の原点になるまでにはそれから約十数年時間がかかっております。

平成9年、皆さんご存知だと思いますが、九遊商が全国で初めて広域再生事業指定産業廃棄物処理者というものを当時の環境庁から指定を受けました。当時は使用済

み遊技機が社会問題に成りつつあった時代でしたが、これが何とか社会問題化する前に我々の手で防

げたということは大変に自慢して良いことだと思います。当時、業界では不法投棄がなかつた為、思っていた以上の評価は得られませんでした。縁の下の力持ちとしていち早く貢献出来たことは非常にありがたいと思います。さまざまな交渉をする上でも先輩方は組合がただの商業組合ではだめだ、何とか法人化しなければいけないということとで昭和63年に(協組化の)意を決する訳ですけれども、当時は風俗営業関係業者が協同組合なんてとんでもないと、そういう風潮であつたらしいです。それでもやはり社会的に何とか認知していただきたい、関係団体との関わりのおかげでこの業界の地位を上げたいという熱い思いから協同組合になり、現

在に至っているのであります。

50年の間には、色々なことが起きます、それがすべて歴史となっております。私も皆さん方も忘れてはならないのは、今あるのはこの歴史の蓄積の上に、さらに先輩方の努力の歴史の蓄積の上にあるのだということを常に念頭におき、50年の歴史を認識しなければなりません。そこから感謝の気持ちとこの組織を次に引き継いでいく責任、この二つを決して忘れてはならないと感じております。私自身もこの50周年を機会に歴史に学び、歴史に感謝し、そして次代の道を開くと、こういう気持ちで九遊商を今後も業界発展の一翼となるべく努力をしてまいりたいと思っております。どうかご臨席の皆様方、今後とも益々一層ご指導賜りますようお願いいたします。と同時に先輩の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして私の挨拶の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

